



▲流れてくるそうめんおいしかった

8月22日、落合キツツキの森管理委員会による「キツツキの森サマーフェスタ」が開催され、80人の親子が参加しました。子どもたちは、水鉄砲で空き缶を打ち落とすゲームや竹ぼっくり、シャボン玉など手作りのおもちゃで遊び、休憩後には、流しそうめんをしました。最後に抽選も行われ、参加した子どもたちは「来年もやりたい」と話していました。 【福島 順一】



▲昔の遊びで地域のふれあい

8月1日、中村自治会館で中村地区青少年健全育成会の「ふれあいフェスタinなかむら」が開催され、約70人の子どもが参加しました。子どもたちは老人会の皆さんから、竹の水鉄砲やお手玉、おはじきなど、さまざまな昔の遊びを教してもらいました。子どもたちが上手に遊べるようになると、老人会の皆さんはうれしそうに目を細めていました。 【馬場 正勝】



署名記事は広報まちかど特派員から



▲8月の朝一番徳の市

8月2日、オーエンス文化会館駐車場で朝一番徳の市が開催されました。朝の6時30分では、まだ日差しは弱かったものの、会場は大勢の人でにぎわい熱気を帯びていました。今回は夏の味覚、スイカの無料試食を行っていました。【米山 徳治】



▲夏の夜の盆踊り

8月1日、恒例の蓼川自治会盆踊り大会が開催され、多くの人々が参加しました。にぎやかに踊ったり、楽しそうに語りあったり、夏の夜を堪能しているようでした。事故もなく、無事に終えることができ、地域の親睦もますます深まったのではないのでしょうか。 【大滝 隆司】



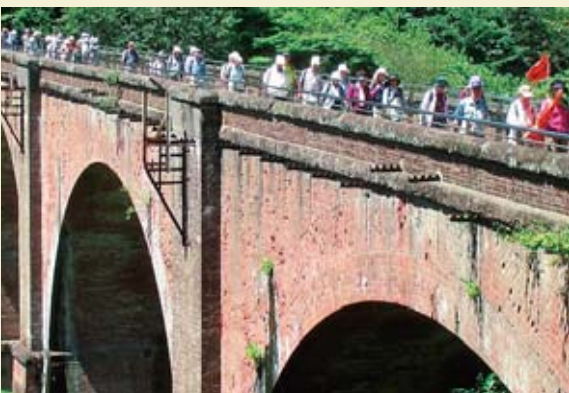
▲夏休み、親子ふれあいの集い

8月5日、大上自治会館で大上地区青少年健全育成会による「夏休み、親子ふれあいの集い」が開催されました。集まった親子はスタッフの指導の下、段ボールで隠れ家を作ったり、冷えたスイカや流しそうめんを食べたりしたほか、映画鑑賞を楽しむなどして過ごしました。 【吉江 旭】



▲自然の中でのふれあい

8月8日・9日、長峰自然の森で綾瀬青年会議所による「ザ・ネイチャーシップ 家族でサマーキャンプ」が開催され、市内の家族27組やボイスカウトなど8団体、102人が参加しました。参加者は、ウォーターライダーで遊んだり、マッチを使ったゆで卵の作り方を教わったり、森での体験を満喫しているようでした。 【吉江 旭】



▲フレンドリーなウォーキング

8月18日、あやせ歩こう会の皆さんが、群馬県にある碓氷峠「遊歩道アプトの道」の、トンネルや橋梁など変化に富んだ6kmのコースを歩きました。途中には高野辰之作詞「紅葉」の歌碑もあり、歌を口ずさみながらのウォーキングとなりました。綾瀬の皆さんの元気ではつらつとした姿がいいですね。 【馬場 正勝】



▲清水川で戯れる親子

8月16日、吉岡の清水川で親子が戯れていました。ワサビ田の湧水が源流の清水川は、風が冷気を運び、気温が30度を超える日でも過ごしやすく、別世界のような様子でした。 【高橋 元】



▲夏のお楽しみ会

8月23日、天台小学校で寺尾天台地区青少年健全育成会の「夏のお楽しみ会」が開催されました。カローリングやボウリング、ヨーヨー釣りなどのゲームをした後は、バーベキューやスイカ割りをしました。皆さん、おいしそうに食べていました。 【高島 勝】



▲湘南梨品評会

8月18日、市役所で湘南梨品評会が行われました。綾瀬・海老名・大和市、寒川町の梨生産農家が作った「湘南梨」の出来栄を競うもので、たくさんの梨が展示されていました。同品評会の後に行った展示品即売会では、数十人の行列ができていました。 【米山 徳治】